

アミノインデックス検査が新しくなりました！

一回の採血でさまざまな疾患リスクを評価できるようになりました。

従来のがんリスクスクリーニング(AICS)に、生活習慣病リスクスクリーニング(AILS)が追加になりました。



◇AICS の評価内容、検査対象者

検査項目	評価内容	対象年齢
男性 AICS(5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25歳～90歳
	前立腺がん	40歳～90歳
女性 AICS(6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25歳～90歳
	子宮がん・卵巣がん	20歳～80歳

※子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんである可能性について評価することができますが、それぞれのがんの可能性について区別することはできません。

AICS は上記の対象年齢の日本人を対象として開発された検査です。これらの方以外の結果は報告されますが、評価対象外となります。

現在がんである可能性を判断する目安として、評価結果を「ランクA」、「ランクB」、「ランクC」の3つのランクに分類しています。この検査は、現在がんである可能性がどのくらいあるかを評価する検査で、がんであるか否かを判断するものではありません。「ランクA」でもがんではないとは言い切れません。「ランクB」や「ランクC」であっても必ずがんであるということではありません。

【AIRS を受けられない方】

- 妊娠されている方
- 授乳中の方
- がん患者(治療中を含む)方
- 先天性代謝異常の方
- 透析患者の方



次のページもご覧ください

◇AILS の評価内容、検査対象者

検査項目	評価内容	
AALS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中、心筋梗塞を発症するリスク	30歳～74歳
AALS(糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク	20歳～80歳
AALS(アミノ酸レベル)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	20歳～80歳
AALS(認知機能低下)	現在認知機能が低下している可能性	50歳～100歳

※AALS(認知機能低下)については、49歳以下の方は結果が報告されません。

AALSは、上記の対象年齢の日本人を対象として開発された検査です。これらの方以外の結果は報告されますが、評価対象外となります。また、脳卒中の方、心筋梗塞の方、糖尿病の方、認知症の方、軽度認知障害の方(いずれも医療機関で診断を受けた方、あるいは治療中の方を含む)の場合、その疾病・所見に関するAALS値や検査結果に基づくタイプは出力されますが、いずれも評価対象外です。

リスクを判断する目安として、評価結果を「ランクA」、「ランクB」、「ランクC」の3つのランクに分類しています。AALSは、10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク、4年以内に糖尿病を発症するリスク、現在認知機能が低下している可能性がどのくらいあるかを評価するもので、生涯にわたってのリスクを予測するものではありません。なお、「ランクA」であっても、10年以内に脳卒中・心筋梗塞、4年以内に糖尿病を発症しない、あるいは現在認知機能が低下していないとは言い切れません。また、「ランクB」や「ランクC」であっても、必ずしも10年以内に脳卒中・心筋梗塞や4年以内に糖尿病を発症したり、現在認知機能が低下していたりするわけではありません。

☆AALS 受診前の注意点

血液中のアミノ酸濃度バランスに影響を与える可能性がありますので、以下の注意事項をお守りください。

検査前8時間以内に、水以外(食事、サプリメント等)は摂らないでください。検査前日の夕食も肉・魚などの高たんぱく質の食事は摂りすぎないようにしてください。



正しい検査結果を得るために、検査当日の朝運動はお控えください。

